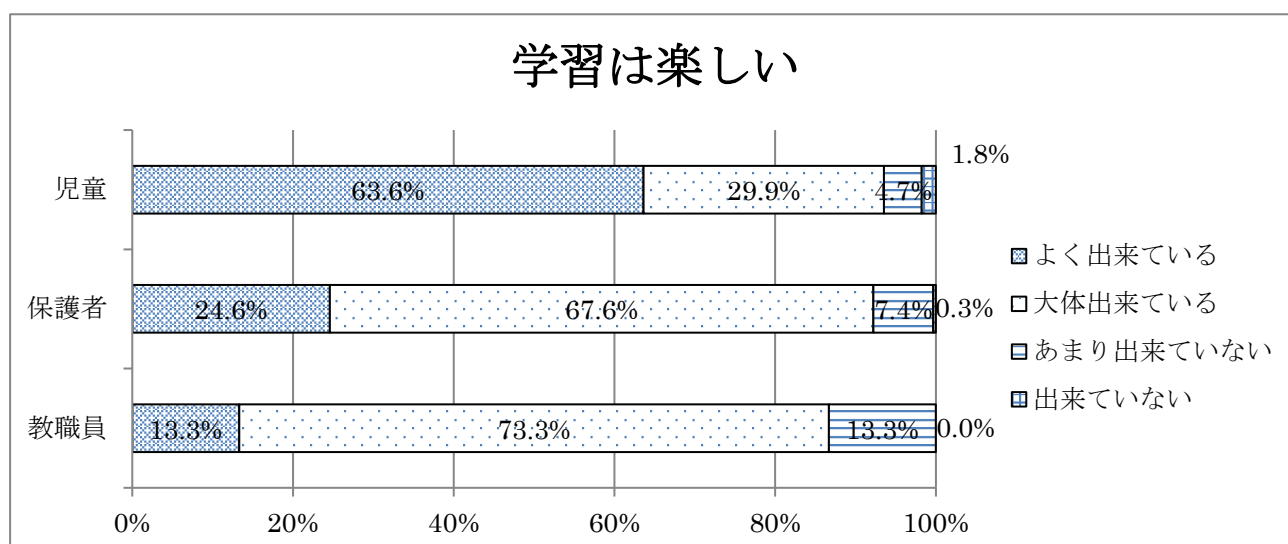


かつらだより増刊号 学校評価（前期）アンケートより

確かな学力

学習は楽しい

「楽しい授業（授業展開）」におおむね満足できていると感じている児童が93%強、保護者が92%強、教師の86%が「児童が分かる授業の追求・展開」ができている答えています。授業には満足している子どもが多く、保護者も子どもの日々の様子からご安心して頂けている様子がうかがえます。しかし、93%の児童が満足できているとする一方、約7%の児童は「満足できていない」ということです。今後7%の児童をどう支援していくのかを考える必要があると思っています。例えば、課題把握がしやすいように具体物を提示したり、（楽しく授業に参加できる。）ワークシートを作成して、穴埋め式で分かりやすく書き込めるようにしたりするなど、「できた」「やった」「楽しい」と思えるような手立てを考えています。



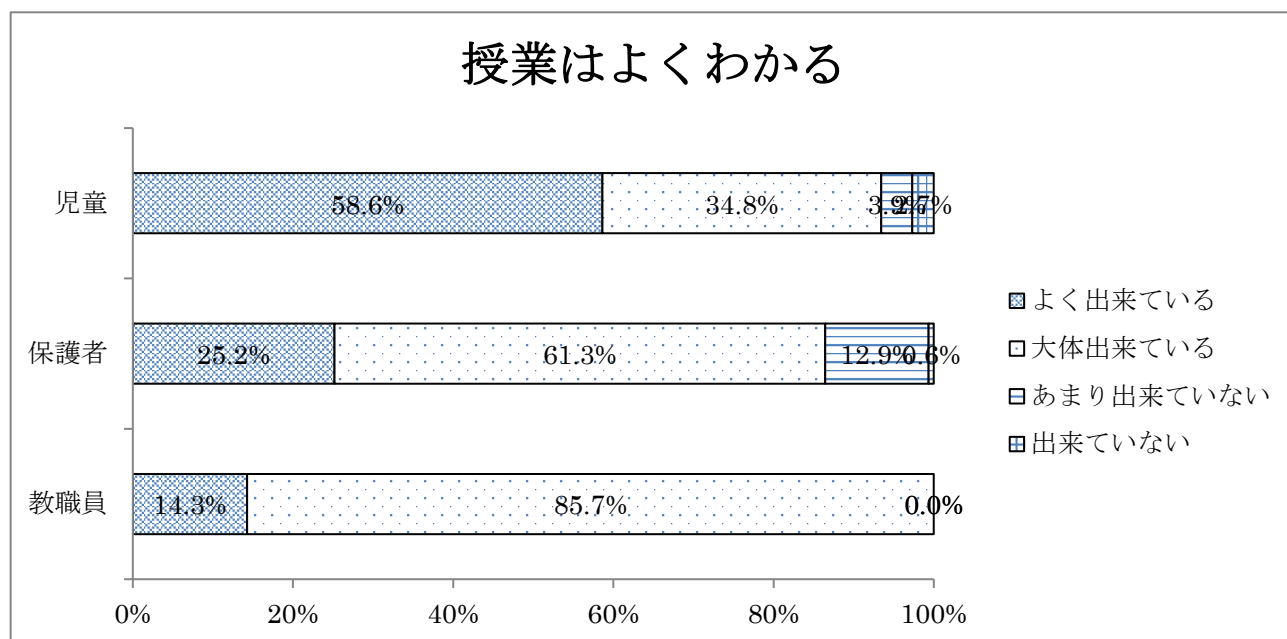
「わかる授業」

児童の93%が、「よくわかる」と回答し、教師側では、100%が、分かる授業を提供するべく努力している様子がうかがえます。保護者の回答は、86%となっており、児童・教師に比べると基礎学力が「身についていない」と感じている方の割合が多い結果となっています。家庭学習をしている様子から、「宿題が分からない」という児童が見られるのかもしれません。懇談会を通じて個別にしっかりと連携していくことも大切だと考えています。

家庭学習

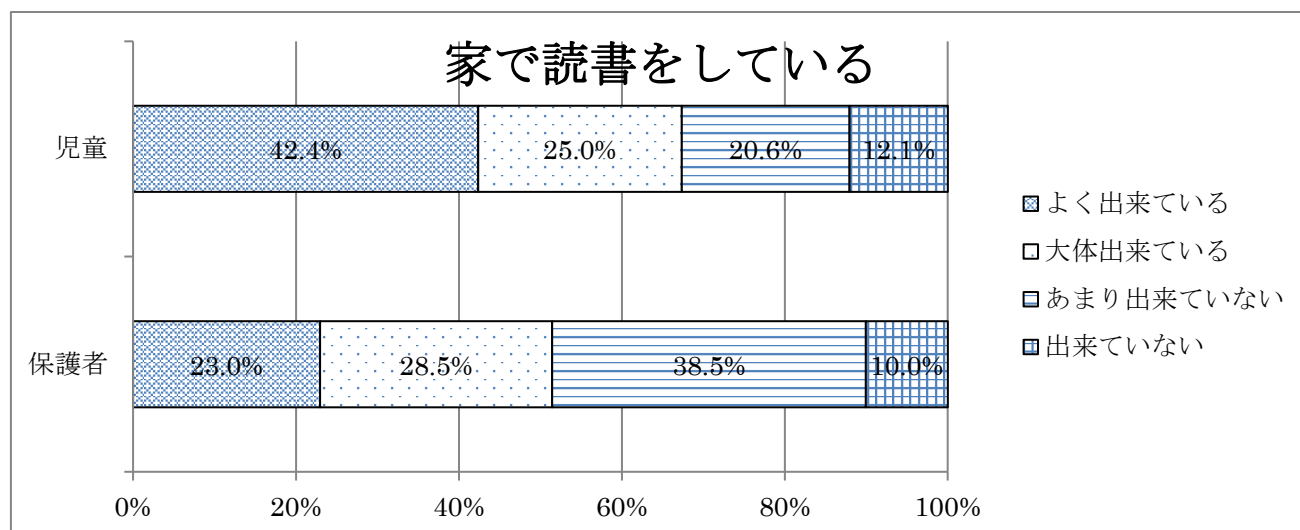
児童の15%、保護者の20%が「できていない」と感じています。桂小では、3年生以上の学年で、自学自習に取り組んでいます。計画表に自ら学習内容や実行する時間帯を計画し、終わったら、それを自己評価する取り組みです。学習内容には、「ばっちりメニュー」としてドリル的・反復練習的なものと、「わくわくメニュー」として自分でまとめたり、探究したりする課題を考えています。そのお手本になるようなノートが玄関の掲示板にも紹介されており、お互いの目標や参考にも

なっています。こういった自学自習の家庭学習を通して、卒業時には、120 分程度の習慣化を目指しています。またこれは桂中学校区の 3 小学校と中学校でも共通の取組としています。



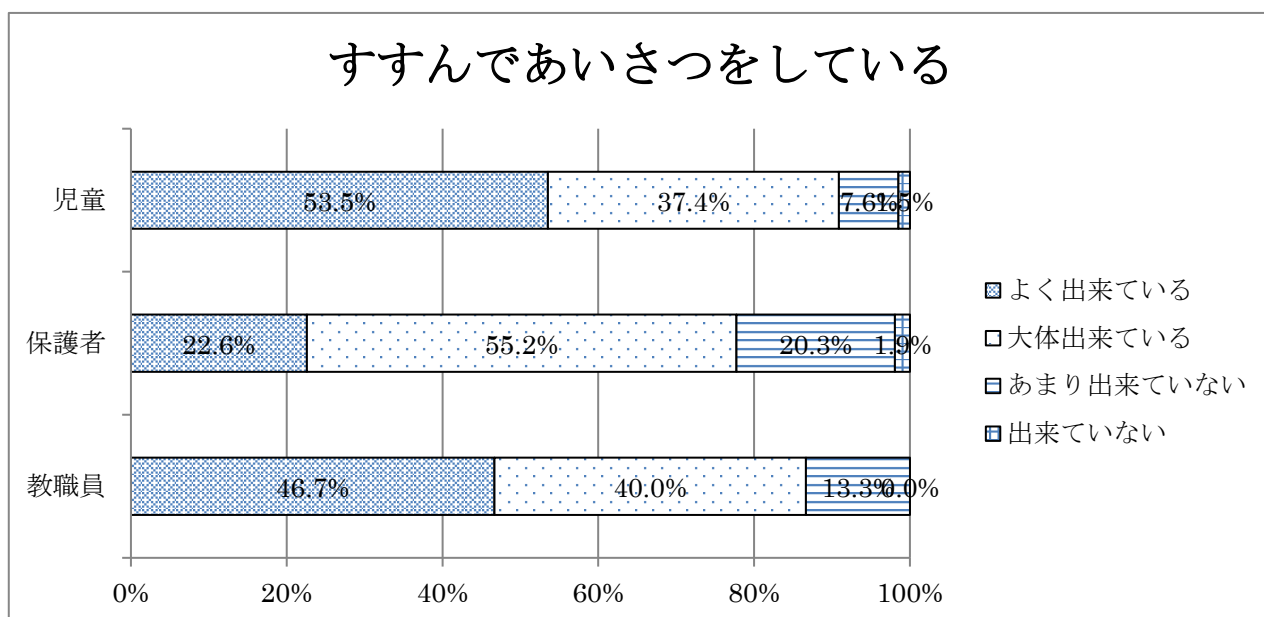
読書

読書の習慣については、児童と保護者共に家庭での読書量が少ないと回答しています。学校では、朝読書の時間帯があり、1・2年生の児童は毎週 1 回は国語の授業中に図書館に行き、じっくりと読書をする時間がありますし、他学年も積極的に図書館も活用していますので、そういった学びから、読書をするのとどのようによいのかを伝え、習慣化していくことが望まれます。学校運営協議会では、家庭での過ごし方で、読書以外に何をして過ごしていることが多いのかを知っていくことの必要性が指摘されました。



豊かな心・健やかな体

「あいさつ」については、児童は「している」と回答していますが、親や教師と比べると大きな隔たりがあります。登校時等の、見守り隊の皆さんなど地域の方へのあいさつなどは、大変大きな課題です。あいさつが、自然にできるようになる（する）ための支援方法については頭を悩ましています。学校運営委員からは、あいさつは、「相手に伝わってはじめて成立するもの」、「高学年は、恥じらいもあり声が小さくなっているのでは」。等と指摘を受けました。お互いに交わす大切さを伝え続けることが大切です。高学年がリードしていくことこそが、すべての児童にあいさつを浸透させる手立てかも知れませんね。



「学校のきまり・楽しく学校に来ている」

児童・保護者共に90%以上が「楽しい」と感じています。

児童の97%が楽しいと言っている一方で、1.2%の楽しいと感じていない児童を見つめなければならないと考えています。100%を目指して、一人一人向き合うことが大切です。

「友だちやまわりの人を大切にしている」

児童、保護者共に97%の方から「できる」という回答をいただいています。6年生が実施した「全国学力・学習状況調査」の回答でも、91.2%の児童が「どんなことがあっても、いじめはいけないことだ」と回答しています。

しかし、いじめはどこでも起こり得るものであると言われます。「いじめアンケート」を実施して、「あのねタイム」で一人一人から話を聞く他にも、普段から児童の声に耳を傾け、様子をしっかりと見つめるなどの基本的で原点ともいえることを今後も進めていくことが重要だと認識しています。ご家庭でもいつもと様子が違うなど、気がかりなことがあればいつでもご連絡をお願いいたします。

「規則正しい生活（早寝・早起き）」

児童 73.3%，保護者も 79.6%と低い結果となっています。規則正しい生活の大切さを常に家庭に呼びかけてはいますが、早寝・早起きがなぜ大切なのかをどう伝えていくかを考える必要があると思っています。「外で元気に遊ぶ」は、約 80%の児童・保護者が遊んでいると回答しています。休み時間には、外で遊ぶ児童も増えてきたように思いますが、帰宅後の外遊びが少ないのではと感じています。

学校・家庭・地域の連携

「毎日週予定表を活用して準備をしている」

児童・保護者共に学習予定表を活用して日々の準備をしたり、学校の様子を確認したりできていて、おおむね良好だと考えています。

「学校の先生に話しやすい」

児童の回答が 90%，保護者の回答が 85%を越えおり、こちらもおおむね良好と思っています。

「学校行事」

「児童が楽しみにしているもの」があり、95%以上の回答がありました。積極的に参加している様子が、日々の活動からも分かります。前期アンケートの後に、大きな行事が続きました。登山を導入した体験学習。全学年に団体演技を計画し、民舞薬味体操に取り組んだ運動会、そして先日の「かがやきフェスティバル」等を経て、次の後期アンケートの結果も楽しみです。

「地域の行事を楽しみにしている」

児童が 92%，保護者も 81%が児童を積極的に参加させていることが分かります。桂小学区では大変豊かな地域行事があります。またその参加率も大変多くて毎年驚かされています。学校運営協議会では、地域の行事の参加率を 100%を目指して、頑張っていただけという温かいお言葉をいただきました。